公益社団法人
東京都理学療法士協会
NO.228
News

2023.11.25 発行
◆発　行　公益社団法人
　東京都理学療法士協会
◆発行人　森島　健
◆編集人　井出　大
医療法人社団永生会
法人本部　地域支援事業部
〒193-0942
八王子市椚田町 590-4
TEL :042-661-4025

第 42 回東京都理学療法学術大会が開催されました

大会長　卜部　吉文
準備委員長　真庭　弘樹
広報局長　小林　和樹

9 月 17 日（日）に北区の赤羽会館にて第 42 回東京都理学療法学術集会が開催されました。都民公開講座も含め 416 名の方に参加していただき盛会のうちに終了することができました。都学会としては久しぶりの現地開催でフレッシュパワーの躍動を感じることができる会とすることができました。皆様のご参加、開催へのご協力ありがとうございました

228 号の目次

第４２回東京都理学療法学術大会準備委員会 …… 1
第５９回日本理学療法学術研修大会準備委員会 …… 2
第１０回日本地域理学療法学会学術大会準備委員会 …… 3
エスカレーターマナーアップ推進委員会 …… 4 ～ 5
災害対策委員会 …… 6 ～ 7
地域活性局 ブロック・支部活動 …… 8 ～ 22
理学療法関連機器開発委員会 …… 23
広報局外宣部 …… 24 ～ 25
福祉保健局障害福祉部 …… 26
スポーツ局人材育成部部 …… 27
スポーツ局スポーツ支援・推進部 …… 28 ～ 35
スポーツ局子どもの健康・安全部 …… 36 ～ 41
学術局学術誌編集部 …… 42 ～ 43
編集後記 …… 43

第 59 回日本理学療法学術研修大会準備委員会

お知らせ

準備委員長　岡安　健

第５９回日本理学療法学術研修大会は東京都が担当いたします

２０２４年度の第 59 回日本理学療法学術研修大会は東京都理学療法士協会が担当いたします。
大会長は豊田輝（帝京科学大学）、副大会長は池田由美（東京都立大学）、準備委員長は岡安健（東京医科歯科大学）です。公式ホームページ公開中です。
ホームページアドレス　https://convention.japanpt.or.jp/nichiken/59/index.html

「第 10 回日本地域理学療法学会学術大会」開催のご案内　開催地　東京都八王子市

第10回 日本地域理学療法学会学術大会

変貌する地域社会と理学療法士の新しい役割

◇日　程　2023年12月16日(土)･17日(日)

大会長　浅川 康吉（東京都立大学）　副大会長　隆島 研吾（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）

準備委員長　田島 敬之（東京都立大学）

◇場　所　東京都立大学 南大沢キャンパス
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

◇形　式　対面学会

大会ホームページ

◇演題申込期間 2023年6月1日(木)～7月30日(日)

◇参加申込時期 2023年9月16日(土)～ 受付開始(予定)
（事前登録）

お問い合わせ　運営事務局　株式会社PCO　E-mail：10th-jsccpt@pcojapan.jp

エスカレーターマナーアップ推進委員会

報　告

委員長　齋藤　弘

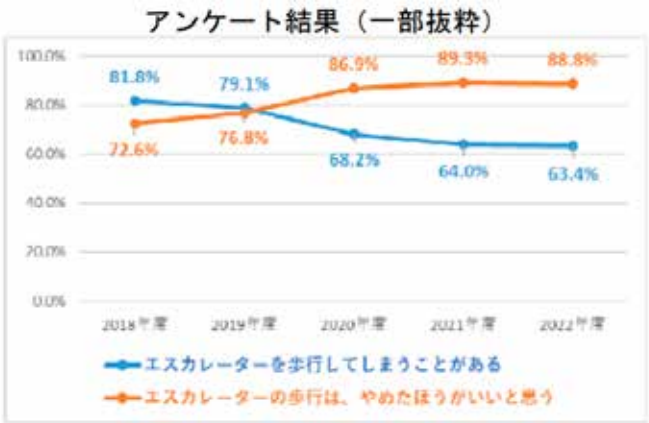
オリジナルまんが教材作成プロジェクトの振り返り

1 年間に渡る教材作成プロジェクトの振り返りを行いました。
エスカレーターマナーアップ推進委員会では令和 4 年 9 月よりエスカレーターの乗り方を通して、インクルーシブ教育を行えるよう小学生向けのまんが教材を作成してきました。作成に携わって頂いた瑞穂町立瑞穂第一小学校の石坂隆文校長先生と寺側厚雅先生と当委員会の水瀬光汰にて座談会を開催し、教材作成プロジェクトの 1 年間を振り返りました。
詳細は今後記事にして皆様に配信できるように準備しております。

座談会の様子

11 月 10 日　エレベーター・エスカレーター安全利用キャンペーン

一般社団法人日本エレベーター協会の活動で毎年「エレベーター・エスカレーター安全利用キャンペーン」を行っております。当協会での協力として希望施設にはポスター配布を行っておりますので、エスカレーターマナーアップ推進委員会事務局小林和樹（Mail：esca.pttokyo@gmail.com）までご連絡ください。駅や電車内など多くの場所に掲示されておりますのでぜひ見つけてみてください。
一般社団法人　日本エレベーター協会：https://www.n-elekyo.or.jp/index.html
2023 年 11 月 10 日の「エレベーターの日」に合わせ、エレベーター・エスカレーターの利用における更なる安全意識の浸透を目指し、国土交通省からの後援と昇降機関係団体からの協賛を受けて「エレベーター・エスカレーター安全利用キャンペーン」を全国で実施しています。本キャンペーンでは、製作したポスター・ステッカーを、全国の電車・バスなどの乗り物や各種公共施設内などに掲示します。昨今、埼玉県や名古屋市では安全な利用の観点から、エスカレーターの歩行禁止を規定する条例が制定されています。エスカレーターの利用に関して調査した結果、2022 年度に「エスカレーターの歩行は、やめたほうがいいと思う」と回答した人の割合は、88.8%と高い水準となり、「エスカレーターを歩行してしまうことがある」人の割合は、減少傾向が続き 63.4%でした。



エスカレーターマナーアップ推進委員会

報　告

委員長　齋藤　弘

情報

＜まんが教材＞

特設 HP：https://www.pttokyo.net/esca/

2023 年 6 月 9 日から特設サイトよりまんが教材の無料提供を開始しております

＜特設 HP　QR コード＞

＜エスカレーターマナーアップ推進委員会＞

〇各種お問い合わせ（Mail）：esca.pttokyo@gmail.com

〇エスカレーターマナー 動画公開：https://youtu.be/MRBqxaKEEMM

〇 Facebook URL：https://goo.gl/nnXZcQ

〇 X（旧 Twitter）：URL　https://twitter.com/tomanoru_esca　フォロワー募集中

＜ Facebook ＞

＜ X（旧 Twitter）＞

報告者：水瀬光汰（練馬光が丘病院）

小林和樹（竹川病院）

村田敬明（大久野病院訪問看護ステーション）

報　告

委員長　松本　浩一

第 18 回災害時安否確認システム予行演習　結果報告

謹啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、本委員会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る９月１日から１週間実施致しました、第 18 回災害時安否確認システム予行演習について、結果を集約させていただきましたので、ご報告させていただきます。

皆様におかれましては、お忙しい中ご参加ならびに広報・周知活動にご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。災害時安否確認システム予行演習は年２回の頻度で今後も継続実施する予定でおりますので、引き続き、ご理解ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

【第 18 回災害時安否確認システム予行演習】

●実施概要

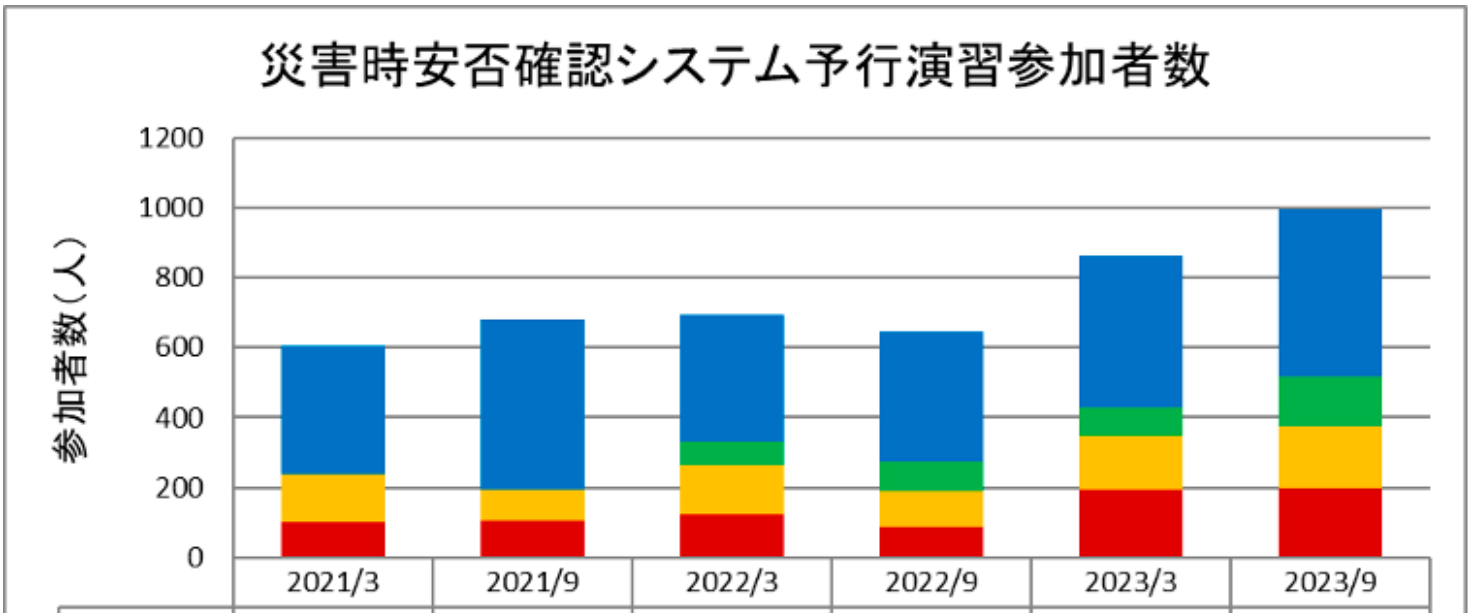
日　時：　2023 年９月１日（金）～ 2023 年９月８日（金）

対　象：　理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

方　法：　URL 又は QR コードから Google フォームにアクセスし情報を登録して下さい

備　考：　東京都理学療法士協会・東京都作業療法士会・東京都言語聴覚士会の合同開催

●結果（参加者全体）



	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9	2023/3	2023/9
PT会員	365	485	366	370	432	482
PT非会員			63	85	80	141
OT	138	91	145	105	156	175
ST	102	104	121	85	194	200

災害対策委員会

報　告

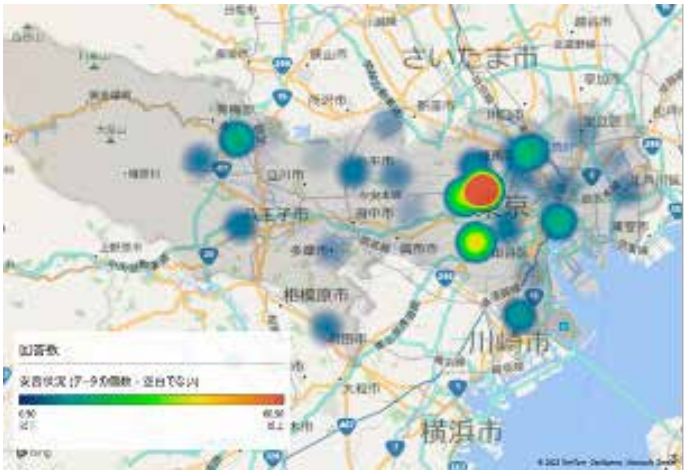
委員長　松本　浩一

●結果（地域別：東京都理学療法士協会員）　※参加者数…赤色：多い⇔青色：少ない

＜第 18 回：2023/9/1 ～ 9/8 ＞

＜第 17 回：2023/3/11 ～ 3/18 ＞

＜第 16 回：2022/9/1 ～ 9/8 ＞



●所感

全体で 1,000 名近い方々に参加していただき、PT の参加者も会員・非会員を問わず増加傾向にあります。また、参加者の地域局在も軽減傾向にあり、東京都全域から参加していただけるようになりつつあります。皆様のご協力の賜物であることは言うまでもなく、深く感謝申し上げます。

一方で、会員全体に対する参加率はまだまだ低いのが現実であり、予行演習を“知らない”会員が多いことも理解しております。引き続き、広報・周知活動に注力し、参加者数の増加を図っていきたいと考えておりますので、引き続き、ご理解ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

報告者　災害対策委員会　委員長　松本浩一

西多摩・南多摩ブロック部

令和５年度　西多摩・南多摩ブロック部研修会のお知らせ

急性期での誤嚥性肺炎の予防のみならず、回復期でのリハビリテーション栄養への取り組み、また生活期での口腔、栄養、リハビリテーションの一体提供など、『食べる』という行為が、近年リハビリテーション分野においてより重要視されています。しかし実際の臨床の現場において、理学療法士が摂食嚥下に直接関わり、実践されている所は多くないように思われます。

このたび東京都理学療法士協会西多摩・南多摩ブロック部では、東京医療学院大学 保健医療学部　内田 学先生をお迎えし、『脳卒中片麻痺患者の摂食嚥下リハビリテーション』をテーマに、下記の日程において研修会を開催させていただきます。

数年ぶりの対面形式の研修会として、是非この機会にご参加いただきますようお願い致します。

【開催要項】

日時：令和５年 12 月 13 日（水）19：00 ～ 21：00（受付 18：30 ～）

場所：八王子市学園都市センター　イベントホール

（〒 192-0083　八王子市旭町９番１号　八王子スクエアビル 12 Ｆ）

講師：内田　学 氏（東京医療学院大学　保健医療学部）

テーマ：脳卒中片麻痺患者の摂食嚥下リハビリテーション

対象：理学療法士、その他の医療従事者

定員：150 名　※定員に達しましたら、受付を終了します

参加費：都士会員 500 円、他県士会員 1.000 円、非会員・他職種 5.000 円

ポイント付与：登録理学療法士 更新 137 咀嚼摂食嚥下 2 ポイント

認定 / 専門理学療法士 更新 研修会 2 点

＊詳細は東京都理学療法士協会 HP をご参照ください。

https://www.pttokyo.net/block/2023/10/22026.html

報告者：永見直明（多摩丘陵リハビリテーション病院）

公益社団法人
東京都理学療法士協会

東京都理学療法士協会 西多摩・南多摩ブロック部研修会

脳卒中片麻痺患者の
摂食嚥下リハビリテーション

2023 年

12月13日（水）

19：00−21：00

講師

内田　学 氏

東京医療学院大学
保健医療学部　准教授

会　　場　八王子市学園都市センター
イベントホール

開催方法　対面開催

定　　員　**150** 名

申し込み方法

参加費：都士会員・・500円、他県士会員・・1,000円
非会員・他職種：5,000 円
登録理学療法士　更新　１３７　咀嚼摂食嚥下　２ポイント
認定 / 専門理学療法士　更新　　研修会２点

日本理学療法士協会会員の方は
日本理学療法士協会マイページからお申し込みください。

セミナー名称:東京都理学療法士協会　西多摩南多摩ブロック部研修会
セミナー番号:116826
申し込み期間:口座振替:10月29日(日)まで
現金振込:11月11日(土)まで
クレジット:11月30日(木)まで

非会員・他職種申し込み QR コード
（申し込み締切　11月11日（土））

西多摩・南多摩ブロック部　町田市支部

町田市支部研修会【対面研修】

今回の町田市支部研修会は、八王子スポーツ整形外科の佐藤正裕氏をお迎えし、多くの方が抱える『腰痛』をテーマに実技提示を交えてお話し頂きます。次の日からの臨床にすぐにつながる内容となりますので、是非とも多くの方にご参加頂けたらと思います。

【日時】令和６年２月９日（金）１９：００～２１：００（１８：３０～受付開始）

【会場】町田駅周辺

【テーマ】腰痛疾患の病態評価と機能評価～明日からの治療に向けて～

【講師】佐藤正裕氏（八王子スポーツ整形外科、JOC ナショナルチームスタッフメディカルスタッフ）

【内容】腰痛のメカニズムや姿勢の影響などをお話し頂き、実際の評価などをデモンストレーションも交えながら紹介してもらいます。

＊詳細は東京都理学療法士協会 HP をご参照ください。

報告者：永見直明（多摩丘陵リハビリテーション病院）

西多摩・南多摩ブロック部

第 10 回西多摩・南多摩ブロック学術集会【対面】

今年は、東京医療学院大学にて、教育講演 2 講演と症例検討会を実施いたします。
久し振りに対面での学術集会を開催いたします。是非とも多くの方にご参加頂き、会場ならではの活発な質疑応答も行って頂けたらと思います。

【日時】令和 6 年 1 月 28 日（日）9：55 ～ 16：10（9：30 ～受付開始）

【会場】東京医療学院大学（〒 206-0033 東京都多摩市落合 4-11）

【内容】

・教育講演 1：「明日からの臨床で患者対応に活かせる 応用行動分析の紹介」
豊田 輝氏（帝京科学大学）

・教育講演 2：「歩行のバイオメカニクスと理学療法」
石井 慎一郎氏（国際医療福祉大学大学院）

・症例検討会 ３領域 × ４症例 合計 12 症例予定
（この演題発表は、日本理学療法士協会の【後期研修 E 領域別研修（事例）】に該当します。）

演題募集期間：令和 5 年 11 月 15 日（水）～同年 12 月 15 日（水）19 時まで

＊詳細は東京都理学療法士協会 HP をご参照ください。
https://www.pttokyo.net/gakkai/2023/10/22317.html

報告者：永見直明（多摩丘陵リハビリテーション病院）

西多摩・南多摩ブロック部

第 10 回西多摩・南多摩ブロック学術集会【対面】

令和５年度　東京都理学療法士協会
第10回西多摩・南多摩ブロック学術集会

日　時　2024/1/28（日）

場　所　東京医療学院大学（東京都多摩市）

定　員　200名（対面開催）

参加費　1,500円（都士会会員）3,000円（他県士会会員）
7,500円（他職種）　15,000円（非会員）

講演１　「明日からの臨床で患者対応に活かせる 応用行動分析の紹介」
豊田 輝 氏（帝京科学大学）

講演２　「歩行のバイオメカニクスと理学療法」
石井 慎一郎 氏（国際医療福祉大学大学院）

症例検討会　3領域×４症例　合計１２症例予定
演題募集期間　１１月15日（水）～１２月15日（金）
本学会における症例検討会での演題発表は、日本理学療法士協会の【後期研修　E　領域別研修（事例）に該当します。

演題募集要綱

参加申し込み方法

日本理学療法士協会会員はマイページからお申し込み下さい
セミナー番号　119120
申 込 締 切　口座振替　12/24（日）　現金振込　1/2（火）
クレジット　1/21（日）
他職種・非会員は専用申し込みフォームよりお申し込み下さい

マイページはこちらから

他職種・非会員専用
申し込みフォーム

問い合わせ先

第 10 回西多摩・南多摩ブロック部学術集会　準備委員会
10th.nishiminamitamagakkai@gmail.com

公益社団法人
TPTA 東京都理学療法士協会

区中央部区南部島しょブロック部　中央区支部

中央区健康福祉まつり 2023 での相談会

日時：2023 年 10 月 22 日（日）10:00 ～ 15:00

場所：中央区福祉センター、あかつき公園、他

都士会ブース参加者：約 200 名

参加 PT：8 名（うち都会員 7 名）

内容：今年は毎回好評のボッチャ対決に加え体力チェックとして、握力測定、子ども対象に子どもロコモのスクリーニングテストの一つである立位体前屈テストと、大人対象にサルコペニアのスクリーニングテストである 5 回立ち上がりテストを実施しました。ボッチャの審判資格を持っている PT のルール説明のもと、家族や友人、初対面の方同士でのボッチャ対決が行われ大変盛り上がりました。体力チェックでは計測結果を年齢ごとの基準値と比較し、状態の説明と必要に応じて運動指導や中央区の介護予防プログラム、「中央粋なまちトレーニング（略称「粋トレ」）」の紹介も行い、運動への興味・関心を持ってもらうことが出来ました。

今年も多くの方に来場して頂き、障がい者スポーツや日頃の体力づくりの必要性への理解が深まりました。

報告者：青木　裕也（リバーシティすずき整形外科）

地域活性局　ブロック・支部活動報告

報　告

局長　中澤 幹夫

区東北部・区東部ブロック部　江戸川区支部

江戸川区民の健康支援　リハビリ体操教室の活動報告

日　時：2023 年 8 月 20 日（日）
会　場：葛西区民館
講　師：芝本幸俊（スマイリー訪問看護ステーション）
アシスタント：理学療法士 4 名
参加者：3 名
内容：60 歳以上の区民の方を対象に、リハビリ体操教室を開催しました。今回は、腰痛予防・改善のため、「腰痛にならない・負けないカラダをつくろう」と題し、講義と体操指導を行いました。講義では、腰痛になりにくい姿勢、動作のポイントを解説し、体操では、ストレッチと体幹、下肢筋力トレーニングの方法を指導しました。参加者の皆さんは、質疑応答を交えながら、積極的に体操に取り組んでおられました。

今後も、江戸川区民の健康支援として体操教室を継続したいと考えています。

報告者：碓井　千晴（東京臨海病院）

お知らせ

局長　中澤 幹夫

区東北部・区東部ブロック部　江戸川区支部

第 46 回江戸川区民まつり

日時：令和５年 10 月８日（日）

場所：東京都江戸川区　篠崎公園

サポートスタッフ：理学療法士４名

内容:コロナ渦発生から４年ぶりの開催となった第 46 回江戸川区民まつりに、江戸川区熟年施設連絡会と協力し、同施設連絡会ブースを利用させて頂き、理学療法士による体操教室、リハビリ相談会を開催しました。屋外活動での体操教室ではありましたが､65 歳以上の高齢者を中心に約 100 名の参加を頂きました。午前午後合わせ３回、体操教室を開催し、その３回のうち２回参加される熱心な方もおり、楽しく充実した体操指導が進められました。

役員スタッフとして参加し、普段の病院業務と異なり、地域住民の方々が抱える身近な悩み、リハビリテーションへの意見を直接聞くことができ、大変貴重な経験をしました。また熟年施設連絡会のスタッフの方との意見交換でも、江戸川区における熟年者の課題について確認が出来ました。今後の江戸川区支部の活動にいかしたいと思います。

報告者：矢島　卓郎（東京臨海病院）

報　告

局長　中澤 幹夫

西多摩南多摩ブロック部　あきる野支部

あきる野市「介護の日」イベント　あきる野支部リハビリ相談会報告

日時：令和５年 11 月 11 日（土）午前 10 時～午後４時

会場：秋川ふれあいセンター

主催：あきる野市、東部・中部・五日市高齢者はつらつセンター、あきる野市介護事業者連絡会

参加者：一般都民 36 名

内容：あきる野市の「介護の日」イベントにおいて、リハビリテーションの相談・助言のブースを出展しました。イベントでは、訪れた都民を対象にロコモティブシンドロームテストを行い、体操の助言やその他リハビリテーションの相談・助言を行いました。

また、作業体験として、匂い袋作成を行いました。こちらには小さな子供の参加もありました。

お知らせ

局長　中澤 幹夫

区西北部ブロック部　練馬区支部

学校保健事業報告

日時：令和５年９月 21 日（木）　13:00 ～ 15:00

場所：練馬区立橋戸小学校

対象者：小学校教職員２名、在校生（5 年生）47 名、養護教諭６名

講師：菅野雄大氏（練馬光が丘病院）　アシスタント：理学療法士７名

内容：

昨年から引き続き、練馬区立橋戸小学校の養護教諭の先生より、小学生に向けてケガの予防について講演のご依頼を受け実施させて頂きました。

　当日は 5.6 時間目の時間をいただき、「ケガの予防～成長期の体に合わせて～」と題して、練馬光が丘病院の菅野雄大氏による講義と実技を行いました。

前半の講義では、初めに理学療法士の紹介を行いました。理学療法士を知っている児童や実際に理学療法を受けた経験がある児童もいて、理学療法士の知名度も広まってきていると感じました。その後は、成長期に生じやすい障害 (主にオスグッド) について、児童でもわかるように説明を行い、障害についての理解を深めました。

　後半の実技では、ペアとなり児童に互いの柔軟性を確認してもらった後に、セルフストレッチやペアストレッチで柔軟性が変化するかを体験してもらいました。大半の児童が効果を実感していたことや、実技後の質問時間に多くの質問があったことから、自分自身の体を知る良いきっかけになったのではないかと思います。

講演後は、市内の小学校の養護教諭も含めた意見交換会が開催され、活発な意見交換が行われました。養護教諭からは、「児童同士でストレッチをする際のリスク管理」や「5 人や 6 人などのグループ制で行うことでより良い質問がでること」などの意見をいただきました。いつも小学生を相手にしている養護教諭ならではの視点の意見がたくさんあり、今後の学校保健事業に活かすことができる良い機会となりました。

いただいたご意見を参考とし、今後も学校保健事業を継続的に行い学校教育の場で、理学療法士が児童の障害予防や健康な体づくりに携わる機会を増やしていければと思います。

報告者：柳田光（慈誠会・練馬高野台病院）

報　告

局長　中澤 幹夫

区西北部ブロック部　北区支部

理学療法士による介護予防体操教室

日　時：2023 年 10 月 19 日（木）

会　場：東京都障害者総合スポーツセンター体育館

講　師：渡邊祐介

補　助：岩山　睦

参加者：13 名

内容：この度は東京都障害者総合スポーツセンターの介護予防教室として障害者の方々を対象に今年度 2 回目になる体操教室を実施して参りました。今回は椅子に座ってできる体幹の運動を実施しました。

参加者の障害は多様でしたが、普段からスポーツに取り組まれていることもあり、ご自身の姿勢に関心が高い様子でした。姿勢不良の原因は様々ですが、生活習慣によっても姿勢に影響し、そこから動作にも変化が起こること、スポーツをしやすい体づくりやスポーツ障害についての説明もした上で、座ってできる体幹の運動を皆さんと実施してきました。

今年度は全部で 3 回の教室を実施する予定となっております。次回は 1 月に肩の運動教室を開催できればと考えています。参加者の皆さんには楽しんで頂きながら実施してもらえればと考えておりますので、今後も盛り上げていければと思います。

報告者：渡邊祐介 (浮間中央病院)

区西北部ブロック部　練馬区支部

第 46 回練馬まつり

開催日：令和 5 年 10 月 15 日（日）

開催場所：練馬駅北口周辺およびマロニエ通り周辺

参加者：理学療法士 12 名

主催者：練馬まつり推進協議会（練馬まつり運営スタッフ委員会、練馬区）

【概要報告】

理学療法を通じて都民の医療･福祉･保健の増進を目的に､｢練馬まつり｣に特設ブースを設置して参加させて頂きました。

内容としましては、握力の測定や柔軟性（立位体前屈）の検査、体組成の測定、健康相談を実施しました。体組成については、In Body を用いて測定を行い、記録用紙を印刷したのち結果をフィードバックして、生活指導や健康相談を行いました。

前日から降り続いた雨の影響で、会場は非常に足元が悪い状況ではありましたが、子どもから高齢者まで多くの方に参加して頂きました。来場者の方からは、「やっぱり体は硬い」「思っていたより筋肉があってよかった」「維持できるように頑張ります」等の感想を頂きました。また、健康増進や介護予防についての質問をされる方も多くいらっしゃり、改めて地域住民の方の健康意識の高さを実感しました。

練馬区支部では、今後も都民の方に向けて公益性のある事業を多く行っていきたいと考えております。引き続き、ご協力の程宜しくお願い致します。

報告者；古庄秀明 (公益社団法人地域医療振興協会　練馬光が丘病院)

報　告

局長　中澤 幹夫

区中央部区南部島しょブロック部

千代田区支部　第 21 回ふれあい福祉まつりでの講演

開催日：令和 5 年 10 月 14 日（土）

開催場所：千代田区役所

主催者：千代田区社会福祉協議会

内容：当日は「フレイル予防のための体操（膝・腰)」と題し講演を実施しました。

講座ではフレイルの説明を実施し、その後身体的フレイルの中の痛みから起こるフレイルに重点を置き、腰痛、膝痛に対する説明と運動を実施しました。

実際に地域の方々と交流する貴重な機会を得ることができ、今後も地域の方々に寄り添えるような活動をしていきたいと考えております。

報告者　河合修 (お茶の水整形外科　機能リハビリテーションクリニック)

区西北部ブロック部　板橋区支部

第９回いたばしウォーキング大会のイベントサポート

日時：2023 年 11 月 3 日（金）

会場：板橋区小豆沢公園等

対象者：板橋区民 1200 名（対応：350 名）

【概要報告】

板橋区支部では、第９回いたばしウォーキング大会のサポートを行いました。当日は握力測定と健康相談会を行い、合計 350 名の区民へ関わることができました。理学療法ハンドブックの配布も行い、多くの区民へ理学療法士の活動をアピールすることができました。老若男女の板橋区民の健康増進に少しでも関われたことは私たちにとっても素晴らしい経験となりました。

報告者：真庭弘樹（IMS グループ　イムス板橋リハビリテーション病院）

報　告

局長　中澤 幹夫

西多摩南多摩ブロック部

町田市支部研修会

日時：2023 年 9 月 22 日 (金)19 時～ 20 時

開催場所：まちだ中央公民館　視聴覚室

テーマ：お互いの強みを知ろう！

①　「精神疾患による昏迷症状により ADL に介助が必要だった事例 ～ 身体が変わって心が動く ～」

講師：大矢 清晴氏 (鶴川サナトリウム病院)

②　「当院における心臓リハビリテーションの現状と方向性 ～ 運動習慣の獲得に向けて ～」

講師：小幡 洸介氏 (町田市民病院)

参加者：10 名 (都士会員 9 名、非会員 1 名)

内容：今回の研修テーマは「お互いの強みを知ろう」とし、支部メンバーが理学療法においてお互いどのような強みや興味をもっているのか共有し、日々の臨床で困った時にコミュニケーションが取れるようにすることを目的としました。大矢氏からは ABC 理論に基づいた理学療法で患者様の症状が大きく改善したこと、小幡氏からは心リハの現状と課題について発表を頂きました。発表後は活発な質疑応答が行われ、研修終了後のアンケートでは、全参加者から非常に役立ったとの回答が寄せられました。久々の対面による研修会でしたが、非常に有意義な研修会となりました。

報告者：倉地洋輔（株式会社まちリハ）

報　告

局長　中澤 幹夫

区中央区区南部島しょブロック部　台東区支部

台東区支部研修会

日時：2023 年 10 月 16 日 (月)
会場：永寿総合病院
講師：加辺　憲人先生
テーマ：「回復期の歩行トレーニングについて考える」
1 歩行トレーニングの前に
2 治療用装具の考え方
内容：
1 のテーマでは職場内の視点共有についてを主として、症例の動画やデータを見ながらディスカッションも交えてお話頂きました。その中で歩行周期の中でそれぞれの注目すべきポイントを分かりやすく教えて頂き、各施設内での視点共有の際に皆が同じ視点で客観的に評価しやすいようなアドバイスを頂くことが出来ました。
　2 のテーマでは治療用装具の考え方について、装具の種類の紹介や基礎的な用語の紹介から装具の選択について等のお話を頂きました。こちらは長下肢装具の実物をいくつかお持ち頂いて、実際の動きを確認しながら装具の特徴と調整のポイントを知ることが出来た為、長下肢装具についての知見が広がり、治療の選択肢を広げることが出来ました。
　今回は久しぶりに対面での研修を行うことができ、研修終了後も多くの方が残って直接先生へ質問したり、各々意見交換が活発に行われていたりしたのでとても有意義な時間になったと感じました。

委員長　小川　智美

国際福祉機器展 2023　視察報告

50 回目を迎えた今年度の国際福祉機器展は、コロナウイルス感染症が５類措置となり初めての開催となりました。海外からのブースも目立ち、会場の雰囲気も以前の活気を取り戻してきている印象を受けました。開催方法はコロナ禍より始まったリアル展示（会期：9 月 27 日から 29 日、会場：東京ビックサイト東展示ホール）と Web 展（10 月 30 日終了：一部コンテンツ変更のうえ 2024 年３月末まで公開中）のハイブリッド開催が継続されました。

今回、初展示のひとつは「転倒保護エアバッグシステム」。目的は転倒時の大腿骨頸部骨折の恐れを軽減すること。利用者はウエストベルトを装着するのみで、側方へ転倒する動きを感知した場合に、大腿側面のエアバッグが膨らみ、転倒時の衝撃を軽減するというものです。また、この機器はスマートフォン専用アプリに登録された連絡先に転倒を知らせるシステムを持ち合わせており、ひとり暮らしをしている高齢者のご家族が転倒をリアルタイムで知ることができる利点があるようです。しかし、ウエストベルトは使用後に充電が必要であること、一度使用したエアバッグは交換となるなど、高齢者が容易にケアしながら気軽に利用できるかは検討の余地があるように思いました。

二つめは、さまざまな環境に適応する自動走行可能な車椅子ロボットで、座面の水平を維持して前向き走行での階段昇降、横行可能で旋回のスペースを不要とする機能や信号認識、衝突防止機能などにより、介助者なしでの目的地への安全快適な移動が可能になりそうです。ただし、まだしばらくは誰にでも手の届く製品とはいえないかもしれません。

他に、省スペースに設置可能なチェーン駆動式の車椅子専用段差解消機は設置例が少ないながらも興味深いものでした。外観はエレベーターのような昇降機ですが、機構はエレベーターとは異なる特殊なチェーンで下からカゴを突き上げる様式で、設置工事は最短１日（原則的に）とのことでした。

最後になりますが、ここに報告した内容はあくまでも国際福祉機器展の展示のごく一部であること、また見学者の主観をまとめたものでありますことご了承ください。

これまで参加機会がなかった方、毎年参加されている方も、ぜひ国際福祉機器展に足を運び、直接製品などの情報に触れてみてください（2024 年は 10 月２日から 10 月４日　東京ビックサイト東展示ホールにて開催予定）。

＊国際福祉機器展は原則撮影禁止のため、機器の写真掲載はしておりません。

国際福祉機器展における展示機器の詳細は保健福祉広報協会ホームページ H.C.R.Web サイト https://hcr.or.jp/ をご覧ください。

＊公益社団法人の特性上、企業名、製品名の掲載は控えております。

報告者　小川　智美（理学療法関連機器開発委員会）

広報局外宣部

2023 年度　受験生のための理学療法士に聞くオンライン相談会事業報告

日　　時：2023 年　7/25、8/4、8/16、8/24、9/2、9/10、9/23　　計 7 回

会　　場：オンラインにて開催（Zoom 使用）

対　　象：理学療法士養成校への進学を検討している方々　参加者 30 名

スタッフ：小川大輝　板井恵輔

概　　要：

理学療法（士）とは何か、理学療法士になるためにはどうすれば良いか、実際の業務の流れの一例の紹介、理学療法士の働く領域などを実際の体験談を交えつつ 30 分程度かけて説明いたしました。

内　　容：

理学療法（士）とは何か。を知っていただき興味関心を持っていただきたく質疑応答の時間も多めに設けながらオンライン形式で開催いたしました。参加者は全て高校生の方々となっておりましたが、実際に質疑応答も活発に行うことができ理学療法士の活動内容や領域の広さを感じていただけたと考えております。

開催中は、大学進学と専門学校進学による進路の違いや実際の給与面、養成校での教育内容についての質問を多く頂いただきました。また理学療法士を目指すうえでの必要な知識や現時点で行えることはあるか、などの進学を見据えた方々の質問も多くいただきました。

今回の活動の中で理学療法士像を深めていただけた他に東京都理学療法士協会として高校生の方々の進路検討の一助となるような活動ができたと考えております。

報告者：外宣部　小川大輝　板井恵輔（緑成会病院）

理学療法士に聞く

オンライン相談会2023

理学療法士に関する「？」

全部聞いちゃおう！

開催日

7.25（火）
8.4（金）・16（水）・24（木）
9.2（土）・10（日）・23（土）

開催時間

14：00～14：30

方　法

ZOOM

参加要件

理学療法士養成学校への進学・受験を予定している
東京都民の方または理学療法士に興味のある東京都民の方

応募方法

東京都理学療法士協会HP
またはQRコード

内　容

理学療法士を目指す方のためのオンライン相談会です。実際に現場で働く理学療法士が１日の業務を説明し、ご質問にお答えします。現場の理学療法士と話すことで、理学療法士という職業のやりがいや魅力を感じていただきたいと思います。

主　催

東京都理学療法士協会

問い合わせ先

緑成会病院　板井宛

公益社団法人
東京都理学療法士協会

報　告

部長　工藤　弘之

障害福祉部　補装具研修会開催報告

【日時】2023 年 9 月 4 日（月）　18：45 ～ 20：15

【タイトル】下肢装具の導入からフォローアップまで

【講師】三浦　篤行　先生（義肢装具士 / 理学療法士　三浦医工デザイン株式会社）

【会場】国立精神・神経医療研究センター　ユニバーサルホール

【参加者】19 名

【内容】

障害福祉部では、実際の装具にも触れていただけるよう久しぶりの対面研修会を開催いたしました。講師は、義肢装具士 / 理学療法士の三浦篤行先生です。下肢装具の介入の目的から、運動制御、姿勢制御へのアプローチなど、具体的にポイントを整理してお話いただきました。また、装具に関する制度に関してもご講義いただき、フォローアップまで学ぶ機会となりました。

当日は、多くの装具や継手などをお持ちいただき、三浦医工デザイン株式会社の義肢装具士の方々にも補助講師としてご協力いただきました。模擬的に障害の状況をつくり、そのアプローチについて体験できるような実技も交えていただいたことで、意見交換しながら学ぶことができる有意義な研修会となりました。

報告者：工藤　弘之（大久野病院）

【活動報告】コーディネーショントレーニング研修会

日時：2023/11/17(金) 19:00~21:00

会場：東京体育館 第 1 会議室

講師：鈴木享之先生 (スポーツ次長 / 長汐病院)

渡邊祐介先生 (スポーツ局子どもの健康・安全部部長 / 浮間中央病院)

齋藤弘樹先生 (スポーツ局子どもの健康・安全部副部長 / 大橋病院)

森本孝則先生 (スポーツ局子どもの健康・安全部副部長 /Physical Care Room T)

運営：板倉尚子先生 , 伊藤弘崇先生 , 平良寛郎先生 ,、岩山睦

参加者：14 名 (東京都理学療法士協会会員)

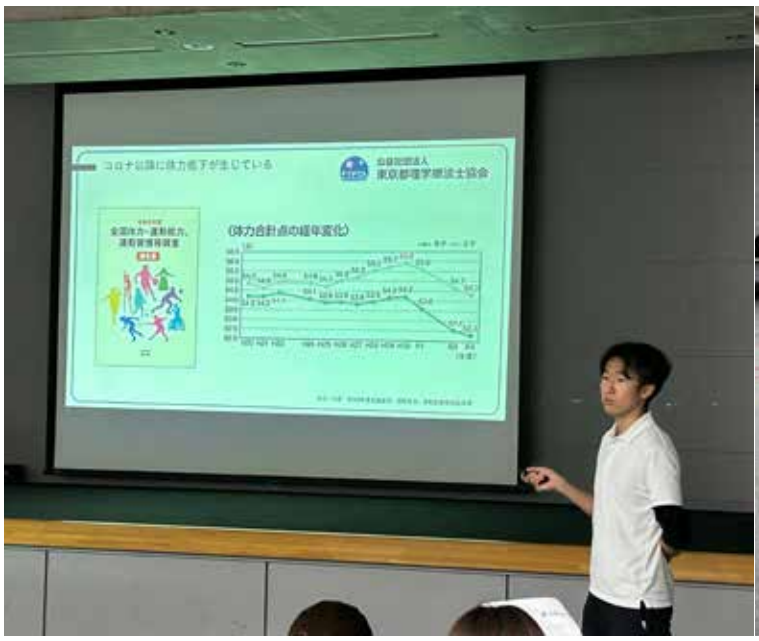
内容：

スポーツ局では , 児童生徒の身体づくりと動きづくりのため学校に赴き出前授業を行っています . 今回は , 活動の広報と後進育成のためにコーディネーショントレーニング研修会を企画させて頂きました .

コーディネーショントレーニングとは ," 定位能力 "," 反応能力 "," 連結能力 "," 識別能力 "," リズム化能力 ", " バランス能力 "," 変換能力 " という 7 つの能力を利用したトレーニングです .7 つのうちいくつかの力がお互いに連動し , 自分の身体を思ったように動かすことが可能になるように発達を促します . 実際の現場に近い形で実技中心の研修会を実施致しました .

参加者からは " 是非活動に参加していきたい " や " 自分の子供の学校や保育園で行ってほしい " など前向きな感想を頂き , 楽しんで研修会に御参加頂けました .

人材育成部では , 今後も臨床や現場活動で必要となる知識や技術を研鑽できるような研修会を企画してまいります .



[座学] コーディネーショントレーニングについて

[実技] ケンステップ

報告者：スポーツ局　人材育成部　部長　岩山 睦 (浮間中央病院)

【活動報告】EDORIKU パラ陸上教室サポート

・日　時：2023 年 8 月 19 日、8 月 26 日（計 2 回）
・会　場：江戸川区陸上競技場
・参加者総数：延べ 15 名
・派遣者総数：延べ 7 名

今年度も江戸川区と東京マラソン財団の協賛で『EDORIKU パラ陸上教室』が全 5 回で開催されており、江戸川区様のご依頼で第 4 回・第 5 回目の教室のサポートに入らせて頂きました。
猛暑の中での教室ということもあり、はじめは室内で、講師の関東パラ陸上競技協会の先生の講義からはじまり、次に日陰になる雨天走路で体力テストを行いました。教室の後半では、レーサー車いで陸上競技場のトラックを走行し、最後は 100m のタイムの計測を行いました。
私たちは、教室開始前にレーサー車いすの調整、参加者への準備体操および整理体操、レーサー車いすへの移乗介助、シーティング設定、走行サポートなど、定期的な休憩や水分補給を促しながら進めて参りました。レーサー車いすに乗るのが初めての参加者が多く、サポートメンバーで協力し細心の注意を払いながら、参加者の皆様が安心して楽しく参加して頂けるよう活動致しました。
今後も参加者の皆様に、体を動かす楽しさを伝えていきたいと思います。今回ご協力下さった皆様有難うございました。

報告者：スポーツ局　スポーツ支援・推進部　鈴木真治 (森山ケアセンター)

【活動報告】フェンシング大会会場サポート

・日　　時：8月19日・20日・27日、9月9日・10日・30日、
10月3日・4日・10日・11日・12日・14日・21日・28日・29日
11月18日・19日（延べ17日間）
・場　　所：練馬区光が丘体育館、江戸川区総合体育館、駒沢オリンピック公園屋内球技場、
北区赤羽体育館、世田谷区大蔵第二運動場体育館
・参 加 者：延べ1860名
・派遣者数：延べ38名

スポーツ支援・推進部では、スポーツ現場活動を希望する理学療法士を募ってフェンシング競技大会のサポートを継続して行っております。東京都フェンシング協会様、関東学生フェンシング連盟様に加え、最近では練馬区フェンシング協会様、江戸川区フェンシング協会様から区民大会のサポートの依頼も受けております。
サポート内容はフェンシング参加選手の試合中の応急処置やテーピング等の急性期対応から、選手の身体の相談やトレーニング方法指導等多岐に渡ります。4月から新しくサポートに参加しているメンバーも参加当初は選手対応で戸惑う事も少なくなかったですが、参加回数を重ね先輩のフィードバックを重ねる毎に少しずつ選手の対応が出来るようになっております。
安全に大会運営が出来る為には、サポートをする人材育成も不可欠です。今後も現場活動を通じて沢山の理学療法士に現場活動を提供できるサポート体制を考えていきたいと思います

報告者：スポーツ局スポーツ支援・推進部　生井真樹（世田谷人工関節・脊椎クリニック）

【活動報告】荻窪・上井草ユニバーサルタイム

・日程：9 月 6 日、9 月 30 日、10 月 4 日、10 月 25 日 (計 4 回)

・会場：荻窪体育館（9/6,10/4)、上井草スポーツセンター（9/30,10/25)

・参加者：延べ 84 名

・派遣者数：延べ 15 名

第 1 回ユニバーサルタイムが昨年 10/23 に開催されてから早 1 年が経過しました。スポーツ局は事業立ち上げから携わり、専門的な視点から事業に協力させて頂きました。

お陰様でユニバーサルタイムでの理学療法士の役割が徐々に大きくなってきている様に感じられます。

ユニバーサルタイムに参加される方は障害の程度も幅広いですが、徐々に参加者の方の姿勢の変化や運動機能の向上を感じる事が出来ており、介護者の方からも喜びの声が聞かれております。

理学療法士だけでなく杉並区スポーツ振興課の皆様を中心に各行政・団体やサポーターの方が一致団結して当事業に尽力してきた成果です。

また、当事業は全国のメディアにも取り上げられ、全国的に注目されてきている事業となっております。

来年度以降も益々事業拡大していく事が予想されます。

　今後も当事業が全国モデルとなり、事業拡大していけるよう尽力していきたいと思います。

報告者：スポーツ局スポーツ支援・推進部　西條攻（(株) ブルーリボン)

【活動報告】江戸川区パラスポーツ初心者教室

・日　程：2023 年９月９日、10 月 14 日 (午前、午後実施)（計 3 回）
・会　場：東部区民館、江戸川区中平井コミュニティ会館、小岩アーバンプラザ
・参加者総数：延べ 12 名
・派遣者総数：延べ 8 名

５月より江戸川区内の３か所の施設で全 5 回ずつ、合計 15 回の「パラスポーツ初心者教室」を開催しております。スポーツ支援・推進部では江戸川区文化共育部スポーツ振興課パラスポーツ係様からご依頼を頂き、参加者のサポートを行っております。講師はミズノ・スターツグループの方が務められ、障害がある方や運動実施に不安がある方のために、ストレッチや体操、筋力トレーニング、パラスポーツ体験を行う教室になっております。

今回参加した教室では、マイティポールというノルディックウォークのようなポールとボルレッジという 500㎎の柔らかいボールを使用したエクササイズ、最後にボッチャを行いました。その中で私たちは、参加者の皆様が無理なく安全に運動が行えるようサポートいたしました。

教室では、参加者の皆様や時には付き添いのご家族の方々も一緒に笑顔をみせ、声を掛け合いながら運動をしており、とても充実した時間でした。さらに、印象的だったのは、付き添いのご家族の方々同士でのコミュニティが形成されていたことでした。教室を通じて地域のつながりの広がりを感じることができました。

今後とも様々な年代のたくさんの皆様に満足して頂けるよう、さらに地域のつながりを広げることへの一助になれるようサポート活動を続けていきたいと思います。

報告者：伊藤 弘崇　スポーツ局スポーツ支援・推進部 (新渡戸記念中野総合病院)

【活動報告】第２回パラ陸上教室 in 国立競技場

・日時：2023 年 10 月 15 日（日）
・会場：国立競技場
・参加者：18 名
・参加理学療法士：４名

この度、国立競技場で行われました、パラ陸上教室のサポートをさせて頂きました。昨年の 10 月に続き、２回目の教室開催となりました。同日の午前中には東京ハーフマラソンが行われており、大会の余韻が残る中での開催でした。今回の教室は、車椅子陸上教室、知的障がい・ダウン症向け陸上教室、フレームランニング体験会の３つの陸上教室が開催され、私たちは車椅子陸上教室のサポートを行いました。
理学療法士は、教室開始前にレーサー車椅子の調整、教室中はレーサー車椅子の移乗介助やシーティング調整、走行の補助を通して、参加者の方々が安心して楽しく参加していただけるようサポートをしました。
普段は足を踏み入れることのできないスポーツの聖地である国立競技場での開催は、興奮や感動を感じました。参加者の方々、ご家族は皆笑顔で、「楽しかった」との声が多く聞かれました。また、教室終わりにはトラックを楽しそうに走行している姿がありました。このような機会を通して参加者の

皆様の夢が広がっていけるよう、今後もサポートをしていきたいと感じました。今回の教室にご協力くださった皆様、参加していただいた皆様に感謝しております。ありがとうございました。

※写真：© 東京マラソン財団

報告者：翁長夏子（南多摩病院）

【活動報告】青山学院大学フェンシング部サポート

・日　時：2023 年 8 月 19 日、8 月 30 日、9 月 16 日、9 月 23 日、10 月 14 日 (計 5 回)
・場　所：青山学院大学体育館
・参加者：延べ 94 人
・参加理学療法士：延べ 8 人

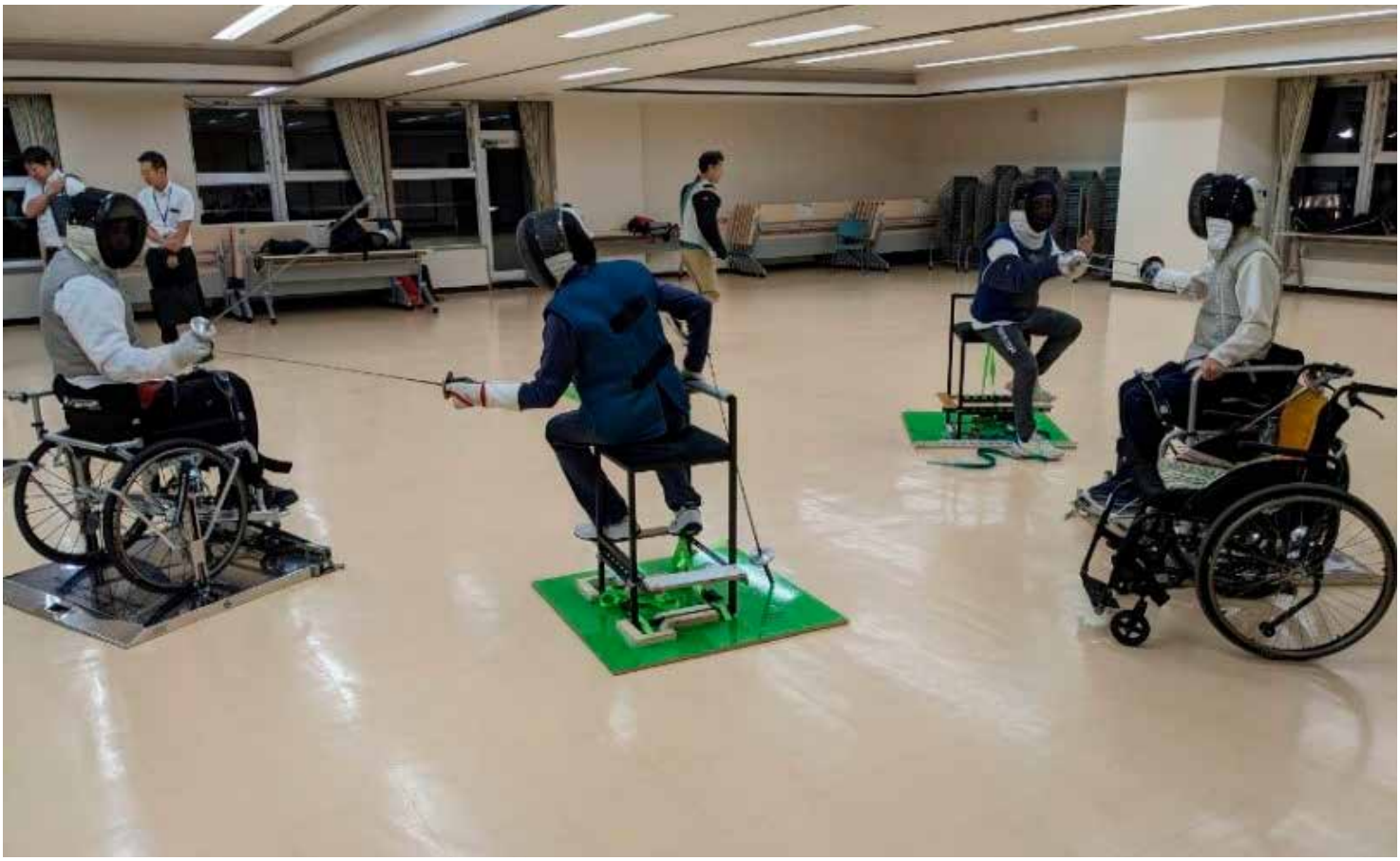
内容
スポーツ支援・推進部では引き続き青山学院大学フェンシング部のサポート活動を行っております。10 月には関東学生フェンシング選手権大会（関カレ）が開催され、個人で 4 名、団体では男子フルーレと男女サーブルが全日本学生フェンシング選手権大会（インカレ）への出場を果たしました。昨年を上回る数のインカレ出場者が誕生し、団体も男子フルーレと男女サーブルがインカレに挑戦できたことは素晴らしい成果です。これは、日々の厳しいトレーニングと努力が結実したものと考えられます。引き続き、青山学院大学フェンシング部のパフォーマンス向上と怪我予防に尽力してまいります。

報告者：スポーツ局　スポーツ支援・推進部　平良寛朗 (池上総合病院)

【活動報告】パラフェンシング練習会

・日　時：2023 年 8 月 19 日、9 月 2 日、9 月 16 日、10 月 7 日、10 月 21 日、11 月 4 日、11 月 18 日（計 7 回）
・場　所：江戸川区スポーツセンター
・参加者：延べ 32 名
・参加理学療法士：延べ 15 名

江戸川区スポーツセンターで行われている車いすフェンシング練習会のサポートを東京都車いすフェンシング協会様からご依頼を受けて昨年からサポートしております。
全日本選手権を終えて、多くの収穫を得た選手たちは新しい目標に向けて、現在も練習に励んでおります。
障害予防や身体のケアの意識も徐々に選手間で向上してきており、理学療法士がストレッチ指導する対応等も増えてきております。理学療法士としての専門性を十分に発揮するため、今後も現場で経験や知識を蓄積していきたいと思います。
引き続き、競技を通じての共生社会実現に向けて、理学療法士としてサポートしていければ幸いです。



報告者：スポーツ局　スポーツ支援・推進部　宮川大（緑秀会　田無病院）

【活動報告】EDORIKU パラ短距離記録会　兼 EDORIKU パラ短距離記録会

・日　時：2023 年 10 月 28 日 (土)
・場　所：スピアーズえどりくフィールド
・参加者：パラ選手 3 名
・参加理学療法士：3 名

内容
昨年度に引き続き「EDORIKU パラ短距離記録会 兼 EDORIKU パラ短距離記録会」がスピアーズえどりくフィールド開催され、記録会のサポートをさせて頂きました。今回も、EDORIKU パラ陸上教室の参加者されている方へのサポートを担当し、レーサーの調整や移乗介助、シーティングの調整、走行へのサポート、記録会中の救急対応などを行いました。
今回初めてレーサーに乗車する方がおり緊張した様子でしたが、一生懸命に 50 mを漕ぎ、ゴールした瞬間には笑顔がみられ、「次回からのパラ陸上教室はレーサーで練習したい」と述べ、次回への期待を感じさせる素晴らしい発言もありました。日頃の理学療法の評価技術や知識が現場で役に立つことができ、サポートすることの意義を改めて実感する事が出来ました。これからも、初めて参加する方や競技に慣れていない方に、安全かつ楽しい体験を提供できるよう、引き続きサポートさせていただけたら幸いです。

報告者：スポーツ局　スポーツ支援・推進部　平良寛朗 (池上総合病院)

【終了報告】みんなでやってみよう！コーディネーショントレーニング研修会

日時：令和５ 年 8 月 26 日（土）
会場：東京体育館第１会議室
講師：鈴木享之先生 (スポーツ局次長 / 長汐病院)
森本孝則 (スポーツ局子どもの健康・安全部副部長 /Physical Care Room T)
参加者：合計 21 名

子どもの健康・安全部では児童生徒の体づくりと動きづくりのため学校に赴き出前授業をしてきましたが、今回はスポーツ局主催、初の親子で参加する研修会を東京体育館で開きました。当日は、３歳から小学生までの子ども達が参加し､親子でスキンシップを取りながらの実技中心の研修を行いました。内容は、アニマルウォーキングやリズム体操、タオルやボールを使用した運動等を組み合わせた色々な動作を体験しました。

＜子ども達の感想＞

「学校でやったことない運動も出来て、汗もかいて体力もついた気がした。何よりも楽しかった。」
　齋藤翼さん　９歳

「こくぶせんせいとたくさんはしってたのしかったです。」　渡邊美月さん　６歳

「楽しかった。ダンスをしたのが楽しかった。またやりたい。」　森本碧斗さん　４歳

保護者の方からも「またやって欲しい」や「次回は子供を連れてきます」等の嬉しいコメントがありました。東京体育館のトレーニングルームでウエイトトレーニングをする筋骨隆々の方をみて、子ども達から「すごい！」との声も聞かれ､スポーツを楽しむ雰囲気を味わう機会にもなったようです。今後も企画をブラッシュアップして研修会を開催します。会場を元気に動き回る子ども達からパワーをもらいました。

報告者：子どもの健康・安全部　副部長　森本孝則（Physical Care Room T）

【活動報告】世田谷区立深沢小学校　学校保健委員会

日　時：令和５年９月 21 日（木）
会　場：世田谷区立深沢小学校
対　象：教員・保護者 30 名
講　師：渡邊祐介
補　助：鈴木享之
タイトル：正しい「姿勢」について学ぼう

今回、世田谷区立深沢小学校の養護教諭の先生よりご依頼があり、学校保健委員会に参加して参りました。そこでは２名の校医（内科医、歯科医）も参加され、深沢小学校の体力測定や検診の結果を元に問題点や改善のために必要なことを提案する場となりました。私たち TPTA 子どもの健康・安全部に与えられました講義のテーマは「姿勢について」でした。姿勢を形成する要因や良い姿勢と良くない姿勢は何が違うのか、運動と姿勢の関係性、正しい姿勢のチェックポイントなどをお伝えし、実際に身体を動かすことで姿勢や可動域がどう変化するのかを教員・保護者の反応や姿勢を評価しつつ、深呼吸の指導ポイントや身体運動におけるコーディネーショントレーニングの重要性等をお伝えしながら、参加者全員と共に身体を動かす場となりました。猫背の簡易チェックでは、運動後に猫背が改善し、驚きや喜ばれている姿も見られ、私たち理学療法士が姿勢や動作を評価しつつ介入していく姿は大変好評だったように感じました。引き続き現代における健康課題であるスポーツ外傷・障害、運動不足や肥満、姿勢不良や運動器検診の事後措置などにおいて、教員の方々のサポートや児童生徒等が自ら適切に対応する方法を伝え、エビデンスに基づいた保健教育を実施していきます。

報告者：スポーツ局　次長　鈴木享之（長汐病院）

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】令和５年度　青梅市立霞台小学校での学校安全教育

日　　時：令和５年 10 月 18 日 (木)

会　　場：青梅市立霞台小学校

対　　象：小学４年生（42 名）

講　　師：渡邊祐介

アシスタント：佐伯潤（スポーツ局外部委員）、岩山睦（スポーツ局）

今回、青梅市立霞台小学校よりご依頼があり、社会科の授業として「防災サイコロ」を実施してまいりました。子どもたちが１人でいる時に被災してしまったら、地域のどこに避難すべきなのか、また、学校としてどのような対応が必要になるかという視点でお話しさせて頂きました。小学４年生の２クラスに対し授業を実施し、グループワークを中心に進められました。児童の皆さんのワークシートには「大きな声」「判断」「諦めない」という被災した時のキーワードが多く記入され、印象に残っていたことに嬉しく思いました。

学校安全教育として避難時の安全な移動、避難場所の考え方、避難環境の評価など理学療法士の視点で防災に携わることができてきています。また､授業では理学療法士が教壇に立ち講師を務め始めています。今後も理学療法士にできる防災、学校安全に携われたらと思います。

報告者：子どもの健康・安全部　部長　渡邊祐介

【平井小学校 PTA　和田綾子様からの活動報告】江戸川区立平井小学校夏祭りイベント

～運動神経を良くする運動＆ダンス～

日　時：令和５年８月 26 日（土）
会　場：平井小学校体育館
理学療法士：７名
参加者数：小学１年生～６年生 130 名

平井小学校 PTA は、子供たちの体力維持と楽しい夏休みの思い出作りのため、
東京都理学療法士協会様の協力の下、夏祭り企画「運動神経をよくする運動＆ダンス」を８月 26 日に本校体育館で実施いたしました。
運動の測定種目は「10m 走」・「ボール投げ」・「立ち幅跳び」の３種目で、各ブースに分かれ記録会、コーディネーショントレーニングを行いました。どのブースも１回目のチャレンジ後、理学療法士さんの指導の下、簡単な運動を一緒に行い、２回目、３回目の記録会に臨むと、１回目、２回目より記録を伸ばした子も多かったです。
その間に２回、高負荷インターバルトレーニング（HIIT）として、事前に理学療法士協会様にて用意頂いた動画をスクリーンで見ながら、全員で「新時代」の曲に合わせて元気にダンスを踊りました。
当日は 100 名近い子供たちが参加し、理学療法士さんの話を聞きながらお友達や保護者、先生と一緒に楽しく体を動かしておりました。子供たちは、自分の記録が上位に入るのか、目をキラキラさせながら、ランキング表を見ていたのが印象的です。

また、ノベルティ（ぴったんライト、メモ帳、コットンバック）もご用意頂き、参加者に喜んでいただきました。
終了後は、平井小学校おやじの会のメンバーでかき氷をふるまいました。汗をかいた後のかき氷はとても美味しく、子供も大人もおかわりし、笑顔いっぱい楽しく食べておりました。
今回初めての試みでありましたが、理学療法士協会の皆様と連携し、楽しいイベントになりました。これからも平井小学校 PTA は子供たちが笑顔になる活動を、教職員、保護者、地域の皆様と一緒に企画運営してまいります。事前の準備および当日の運営、ありがとうございました。

ご報告：平井小学校 PTA　和田綾子様

報　告

局長　板倉 尚子

【活動報告】豊島区立駒込中学校 学校安全教育

日　時：令和５年９月７日（木）

会　場：豊島区立駒込中学校

講　師：森本孝則（スポーツ局子どもの健康・安全部副部長 /Physical Care Room T）

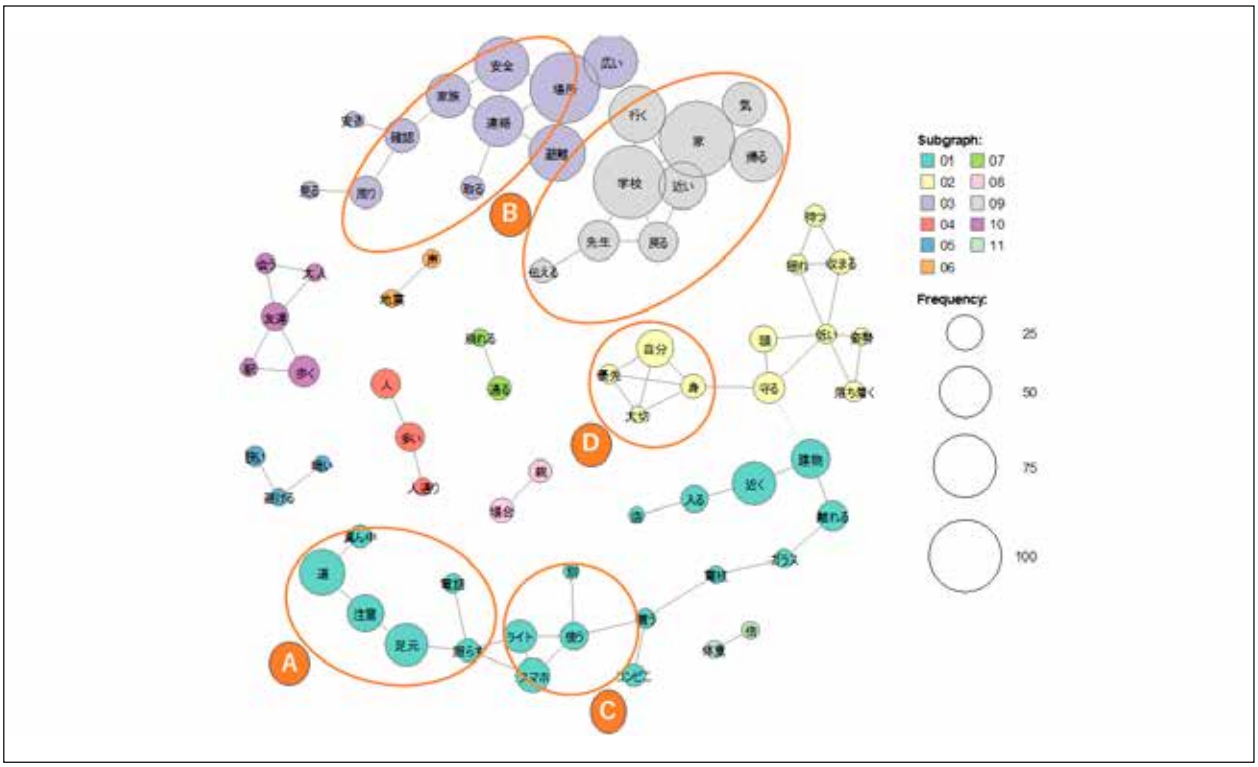
参加者：計 54 名（3 年生２クラス）

駒込中学校で防災の講師としてデビューをして参りました。この３年間、スポーツ局外部委員の佐伯先生の防災に関する勉強会に継続して参加してきました。防災サイコロの授業についても防災理論の学習や、リハーサルトレーニングを繰り返し行ってきました。

防災サイコロの授業を通して子供達が学習した内容は、実際の災害時に反映されます。安全につながって欲しいと願う一方で、誤った解釈や中途半端な説明によって誤解を生じさせることは、逆効果となり、場合によっては危険を誘引するおそれもあります。

当日の授業では、生徒さん方が真剣にこちらの話を聞いて下さっているのが伝わってきました。授業を行った結果を khcoder の共起ネットワークにかけると以下のような結果を得られました。授業の際にお伝えをした駒込中学校の周辺環境における潜在的な危険性について生徒さん方が答えることが出来ていることから、危険な物や事について認識することが出来たと考えられます。

今後も学校の安全に取り組む教職員の皆様を応援していきたいと思います。今回、このような機会を頂きました豊島区立駒込中学校の皆様に感謝申し上げます。有難う御座いました。



報告者：子どもの健康・安全部　副部長　森本孝則（Physical Care Room T）

【活動報告】東京保育士会　秋の研修会

日　時：令和 5 年 11 月 19 日 (日)
会　場：国立オリンピック青少年総合センター・センター等 309 号室
対　象：保育士・看護師・栄養士・主任保育士・事務職など 53 名
講　師：鈴木享之
タイトル：幼児期に注目すべき " 足と姿勢 " と " 身につけたい動き "

東京保育士会様より、東京都理学療法士協会へ「秋の研修会」の講師依頼を頂き、TPTA スポーツ局員として研修会講師活動をして参りましたので報告致します。「東京保育士会」（旧東社保保育士会）は創立 68 年目の会となりっており、保育園で働くすべての従事者（保育士、看護師、栄養士、調理師、主任保育士、事務職など）の方々が、学び、交流できる場を大切にしている東京都では唯一の団体となっているそうです。今回は、東京保育士会が主催する会員だけではなく会員以外の方にも門戸が開かれた研修会でした。様々な職種の方々と共に、幼児期に注意すべき " 靴の選び方や姿勢 " そして " 身につけたい運動 " についてからだの構造・成長段階・運動の姿勢についてのレクチャーを行いました。参加者には、実際に「保育園やパパと子供の講座」等にて行っている、遊びやコーディネーショントレーニングを体験して頂き、次の日にもすぐ役立つ内容にてご提供させて頂きました。
また、参加者から「早速明日から使ってみます」「からだの仕組みが理解でき、保育の中でつかってみたい」「子供を運動させる時の見かたが分かった」等のご意見を頂く事もできました。
子供の未来を明るくさせる更なる活動が促進される時代において、理学療法士が様々な職種と手を組み時代の最先端を突き進める様、まずは地道な現場活動を精進して進んでいきたいと思います！！

報告者：スポーツ局　次長　鈴木享之（長汐病院）

《執筆投稿規定》

1. 学術研究論文
2. 教育関係論文
3. 症例報告論文
4. 行政及び士会運営に関する論評等

【投稿者の資格】

公益社団法人東京都理学療法士協会会員に限る。但し会長が依頼した場合この限りではない。

【投稿原稿の条件】

投稿原稿は他誌に発表、または投稿中の原稿でないこと。本規定に従って作成すること。

【著作権】

本誌に搭載された論文の著作権は東京都理学療法士協会に属する。

【研究倫理】

ヘルシンキ宣言に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。

【原稿の採択】

原稿の採択は複数の査読者の意見を参考に編集委員会において決定する。査読の結果、編集方針に従って原稿の修正を求めることがある。また、必要に応じて編集委員会の責任において字句の訂正を行うことがある。

【執筆規定】

1. 論文構成

1）標題（表題）：内容を具体的かつ的確に表し、できるだけ簡潔に記載する。原則として略語、略称は用いない。

2）キーワード：標題及び要旨から 3 個を抽出する。不十分な場合は本文から補充する。3）著者名、所属名

4）要旨：「目的」「方法」「結果」「結論」を含めて 400 字程度で記載する。

5）本文：下記の各部分から成り立っていることを原則とする。

① はじめに（序論、諸言、まえがき等）

② 対象および方法（症例紹介）：倫理的配慮を記述すること。

③ 結果

④ 考察

⑤ 結論（まとめ）

⑥ 文献：引用文献のみとして本文の引用順に並べる。本文の該当箇所の右肩に一連番号を付ける。引用文献の著者氏名が 3 名以上の場合、最初の 2 名を記載し、他は「・他」あるいは「et al.」とする。雑誌の場合は著者氏名、論文題目、雑誌名、巻、号、頁、西暦年号の順に記載する。単行本の場合は著者氏名、書名、編集者氏名、発行所名、発行地、年次、頁を記載する。

＜表記例＞

・藤田信子，桝田康彦・他：椅子座位における側方傾斜刺激に対する頸部・体幹・四肢の筋活動―筋電図学的分析．理学療法学 ,17:27-30,1990.

・Sepic,S.B,Murray,M.P,et al.:Strength and Range of motion in the Ankle in Two Age Groups of Men and Women.Am.J.Phys.Med,65:75-84,1986.

・真島英信，猪飼道夫：生体の運動機能とその制御 . 杏林書院 , 東京 ,1972,pp185-193.

・Junda,V.:Muscle Function Testing Butterworths ,London,1983,pp224-227.

6）図表

原寸でそのまま掲載する（作図や縮小はしない）。図の番号および標題は図の下に、表の場合は表の上につける。本文と図表は分けて作成し、表・図・写真の挿入位置を本文の右欄外に指示する。

2. 原稿規定分量

原則として 400 字詰め原稿用紙 20 枚・8000 字以内とする。

3. 文字表記

原則として現代かな使い、数字は算用数字，単位は国際単位系　（SI 単位）を用いる。

4. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

5. 表紙頁，著者頁

論文には表紙頁と著者頁をつける。表紙には標題、キーワード (3 個)、本文ページ数、図表枚数、原稿文字数を記載する。著者頁には著者名、所属名、責任者連絡先（住所･電話番号･Email アドレス）を記載する。表紙頁，著者頁の後に要旨・本文・図表を改めて記載する。

6. ページ番号・行番号

原稿にはページ番号（最下部中央）と本文右（または左）に５行ごとに行番号を記載する。

【原稿送付方法および連絡先】

1）原稿送付先

原則として投稿原稿一式を１つのファイルにまとめ、電子メールに添付して下記へ送付する。上記が不可能な場合は問い合わせすること。

2）原稿送付先および連絡先

〒 189-0024　東京都小金井市中町 2-22-32

社会医学技術学院　　理学療法学科

(担当者) 中山雅和

TEL：042-384-1030

FAX：042-384-8508

E-mail：pt_tokyo_kikanshi@yahoo.co.jp

（平成 31 年 1 月 31 日　改定）

編集後記

東京都理学療法士協会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？ 228 号は全 43 ページとなっております。また第４２回東京都理学療法学術大会の開催報告と第５９回日本理学療法学術研修大会、さらに東京都八王子市で 12 月に開催される第 10 回日本地域理学療法学会学術大会を取り上げました。また災害対策委員会からの報告、地域活性局からは数多くの報告が寄せられました。ぜひ地域での会員の活動にもご注目いただきたく存じます。

さて東京都理学療法士協会広報部では Twitter、facebook、Instagram の SNS アカウントを運用しております。様々な媒体を通じて東京都理学療法士協会の活動は発信してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

X（Twitter）

https://twitter.com/TPTA_PR2023

facebook

https://www.facebook.com/profile.php?id=100091964630282

Instagram

https://www.instagram.com/tpta_pr2023/

公益社団法人 東京都理学療法士協会 正会員数

10,619 名（令和５年１１月２８日現在）

（事務局 新住所）　〒 151-0053

東京都渋谷区代々木 1-58-7　ヴェラハイツ代々木 201

Tel：03-3370-9035　FAX：03-3370-9036